

一般社団法人 日本コンクリート診断士会
2023年度（第14回）定時社員総会資料

2023年5月26日（金）

議 案

- 第1号議案 2022年度事業および収支報告について
第2号議案 監事改選について
第3号議案 2023年度事業および収支計画について

報 告

- (1) 会員数等報告
(2) 各地区コンクリート診断士会の活動報告

(一般社団法人) 日本コンクリート診断士会

JCD

第1号議案 2022年度事業および収支報告

1. 2022年度事業報告（2022年4月1日～2023年3月31日）

1.1 第13回定時社員総会

- (1) 2022年5月25日 ウィンクあいち1302号で開催 出席者数19名、委任状出席810名、合計829名（議決権数1564名に対し53.0%）
- (2) 2021年度事業報告・収支報告、2022年度事業計画・収支計画について審議し承認
- (3) 会員数等報告、JCD2022年次発表会のご案内、各地区コンクリート診断士会の活動報告について報告され、記念講演を東京工業大学名誉教授林静雄様に依頼

2. 各部会報告

2.1 総務部会

- (1) 2022年度（第13回）定時社員総会をハイブリッドにより実施
- (2) 定時総会終了後に東京工業大学名誉教授 林静雄様の記念講演を実施
- (3) 定款・細則・内規の内容の確認と改定の検討
- (4) 事務局運営のフォロー

2.2 企画部会

- (1) 部会長会議をリアルおよびリモート方式で開催（2022年10月28日、2023年3月24日の2回開催）
- (2) 日本コンクリート工学会とリモート方式による意見交換会の開催（2023年3月24日）
- (3) 他部会の事業のサポートとブラッシュアップの提案

2.3 財務部会

- (1) 下半期の事業実績
 - ・ 11月11日に愛知県で開催された業務体験発表会の収支について報告
 - ・ 3月中旬に2月末時点での財務関係資料を基に2022年度の収支予測
- (3) 2022年度決算の実施

2.4 技術部会

- (1) JCD2022年次発表会（第5回保有技術発表および第9回業務体験発表）
2022年11月11日：愛知県名古屋市ウィンクあいち
対面形式とオンラインによるハイブリッド形式で開催
→3件の保有技術発表 6件の業務体験発表
※内容は、情報誌「コンクリート工学」に投稿予定（3月24日時点）
- (2) JCD2023年度年次発表会開催に向けて関係者との調整
以下、新潟県コンクリート診断士会役員・幹事会 議事録より抜粋
 - ①JCD2023年次発表会（第6回保有技術、第10回業務体験）
日時：2023年11月10日（金） 10:30～17:00
会場：新潟グランドホテル
参加費：会員3,000円、非会員5,000円、Web閲覧 無料（会費は事前振込）

開催方法：対面+Web 視聴のハイブリット方式
準備及び当日の運営は基本的に新潟県診断士会で行う。(詳細は J C D と協議)
リモート配信用の器材及び、対面用プロジェクターの準備
リモート配信 P C 操作 (配信用の Zoom は J C D のアカウントを使用)
発表報文の募集、選定は J C D 技術部会で実施

②交流会 (同日)

新潟県診断士会としては開催予定
会場 新潟グランドホテル
参加者 立食形式 30 人~40 人程度
参加費 未定

③現場見学会 (新潟県コンクリート診断士会の自主開催)

開催日 2023 年 11 月 11 日 (土)
見学場所の選定及び準備 (現場との調整、バス、昼食等の手配等) については、新潟県診断士会役員会で案を作成
参加費 未定 (開催費用は参加者の会費で賄う)

(3) アンケート調査 (オンライン) の実施

今後の技術部会の在り方について、全会員を対象に実施
回答 503 名 (別紙参照)

2.5 広報部会

(1) かわら版の発行

1 月と 4 月

会員および JCI にメール配信および HP への掲載、全国の自治体に郵送

(2) ホームページ (HP) リニューアル

2.6 会員部会

会員部会として下記の活動を実施すべく計画したが、昨年同様コロナ禍により、活動はほぼ出来なかった。

(1) 各地区の診断士会への加入のための P R 活動の支援

コロナ禍により、加入のための P R 活動の支援は、出来なかった。

(2) 法人会員の加入促進のための P R 活動

PR 活動は、ほぼ出来なかった。

(3) 法人会員の登録可能人数の上限に満たない法人会員への P R 活動

令和 5 年 1 月に法人会員全社にメールにてお願いをした。

ただ、希望する法人会員が数社しかいなかった。

(4) 未加入の地区診断士会の加入促進活動

コロナ禍により、加入促進活動はまったく出来なかった。

なお、現在未加入診断士会は下記の 7 地区となっている。

山口県コンクリート診断士会 (会員数 不明)

- 奈良県コンクリート診断士会（会員数 48 名）
- 香川県コンクリート診断士会（会員数 36 名）
- 福岡県コンクリート主任技士・コンクリート診断士会（会員数 61 名）
- 宮城県コンクリート診断士会（会員数 103 名）
- 山形県コンクリート診断士会（会員数 63 名）
- 広島県コンクリート診断士会（会員数 88 名）

2.7 事務局

(1) 会員証について

- ・住所を明記しないことをご承認済（サンプルを作成）
ホームページアドレス、メールアドレス入り、QR コード
- ・会員証の台紙の選定
クレジットカードみたいな台紙（100 円/枚） かクオカードみたいな台紙（50 円/枚）

(2) 日本コンクリート診断士会の新ホームページ（新 HP）をアップ

(3) 年次大会について（技術部会と連携）

- ①JCD2023 年次大会について
- ②JCD2024 年次大会について

JCD2022 年次大会の開催した東海コンクリート診断士会より「青森県コンクリート診断士会」を指名。

(4) かわら版について（広報部会と連携）

- 第 26 号は 2022 年 5 月に発行済
- 第 27 号は 2023 年 1 月に発行済
- 第 28 号は 2023 年 4 月に発行済
- かわら版発行予定表参照、新技術等の応募が無い。

(5) 定時社員総会の準備

(6) 鳥取県コンクリート診断士会 要望書について

- 1 月 23 日に鳥取県コンクリート診断士会から要望書が提出され、
- 2 月 8 日（水）13 時から 16 時に懇談意見交換会を Zoom にて開催。
- 議事録を作成。橘高会長にて回答書を作成。

(7) 法人会員の調査

(8) その他業務

- ・総会，理事会，部会長会議等を計画し開催
- ・2022 年度はコロナ禍により理事会や部会長会議は電話やメールにて調整

理事会活動実績

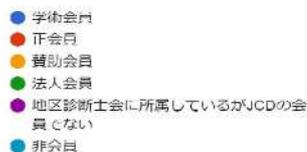
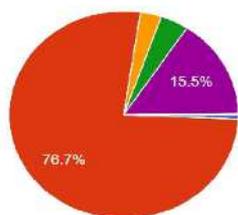
- | | | |
|-----------|-------------|---|
| 第 22-01 回 | 2022. 4. 27 | ・2022 年度（第 13 回）定時社員総会 委任状、総会のご案内
総会議案書提出→承認 |
| 第 22-02 回 | 2022. 5. 17 | ・かわら版 26 号の各地区診断士会へメール送付
ホームページに掲載 |
| 第 22-03 回 | 2022. 6. 6 | ・大内氏監事辞退と中谷氏オブザーバー審議→承認 |

- 第 22-04 回 2022. 5. 24 ・ 2022 年度（第 13 回）定時社員総会開催
- 第 22-05 回 2022. 10. 28 ・ 第 1 回部会長会議開催
- 第 22-06 回 2022. 10. 7 ・ 池原喜也様 直接正会員入会審議→承認
- 第 22-07 回 2022. 10. 12 ・ 会員証発行（住所なし）の件で審議→承認
- 第 22-08 回 2022. 10. 14 ・ 極東興和 杉澤茂則様 直接法人会員 B 入会審議→承認
- 第 22-09 回 2022. 10. 20 ・ JCD 税理士変更審議→承認
- 第 22-10 回 2022. 11. 1 ・ JCD2022 年次発表会 Web 閲覧無料化審議→承認
- 第 22-11 回 2022. 11. 1 ・ 第 1 回部会長会議議事録審議→承認
- 第 22-12 回 2022. 11. 2 ・ 第 1 回 JCD 理事会（Web 開催）日程調整
- 第 22-13 回 2022. 11. 11 ・ JCD2022 年次発表会（第 5 回保有技術、第 9 回業務体験）
- 第 22-14 回 2022. 11. 29 ・ 第 1 回 JCD 理事会（Web 開催）
- 第 22-15 回 2022. 12. 12 ・ 第 1 回 JCD 理事会（Web 開催）議事録審議→承認
- 第 22-16 回 2023. 1. 10 ・ かわら版第 27 号を各地区診断士会へメール送付
- 第 22-17 回 2023. 1. 23 ・ 鳥取県コンクリート診断士会田中会長からの要望書に対する
懇談意見交換会開催を確認し、開催日を調整
- 第 22-18 回 2023. 2. 8 ・ 懇談意見交換会開催
- 第 22-19 回 2023. 3. 24 ・ 第 2 回部会長会議開催
- 第 22-20 回 2023. 3. 31 ・ 鳥取県コンクリート診断士会田中会長からの要望書に対する回
答書を橋高会長作成→承認

日本コンクリート診断士会 技術部会アンケート調査結果 (2023.3)

問1.あなたのJCDにおける会員種別をお聞かせください

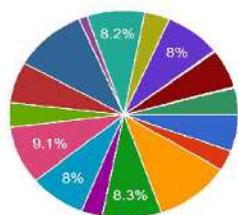
503件の回答



学会会員	2
正会員	453
賛助会員	7
法人会員	9
..JCDの会員でない	32

問2.あなたが所属する地区診断士会をお聞かせください

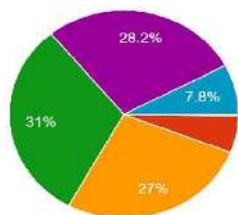
503件の回答



北海道	29	石川県	32
青森県	16	福井県	52
新潟県	42	鳥取県	18
長野県	15	島根県	40
東京	54	高知県	1
静岡県	40	大分県	30
東海	46	宮崎県	1
京滋	6	熊本県	21
富山県	19	岡山県	41

問3.あなたの年齢をお聞かせください

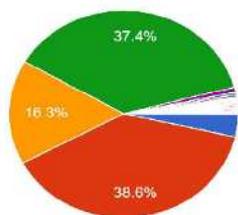
503件の回答



20代	1
30代	29
40代	136
50代	156
60代	142
70代	39

問4.あなたの職種・業種をお聞かせください

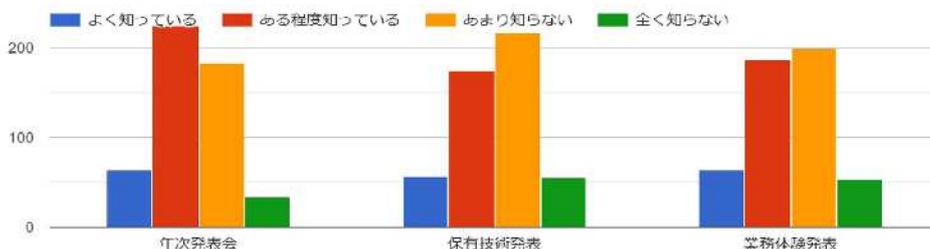
503件の回答



官庁、地方自治体等	18
設計、調査、コンサルタント	194
材料・製品	84
施工会社	188
電力、鉄道、道路等	4
その他	15

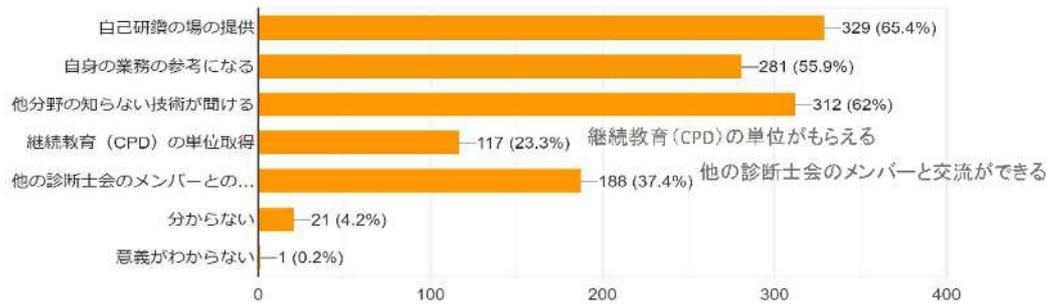
問5. JCDで毎年開催している年次発表会についてお聞かせください

5-1.年次発表会の内容をご存じでしょうか？



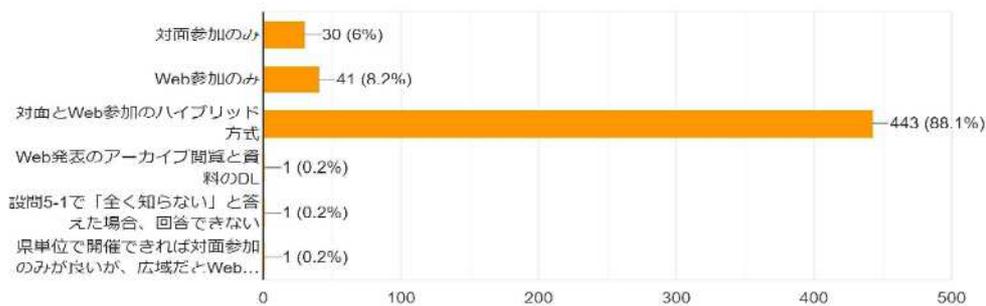
5-2.年次発表会を開催する意義は何だと思えますか？（複数可）

503 件の回答



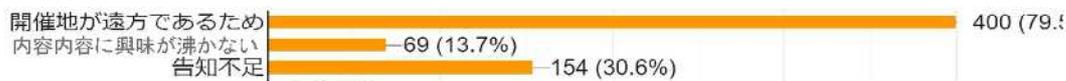
5-3.年次発表会はどのような開催方法が望ましいと思えますか？

503 件の回答



5-4.年次発表会に参加しない人が大多数ですが、理由は何だと思えますか？（複数可）

503 件の回答



その他

- 仕事の都合、業務との調整が難しい、日程が合わない、開催時期
- コストウェイトレシオが低い
- 全国をあまり意識していないから、自分の担当業務と直結していない
- プログラムの題名だけでは興味のある内容が分かりにくい
- 参加費用や参加人数制限、出張が困難
- 懇親会が無くなった

5-5.年次発表会はどのような内容であれば参加しようと思えますか？（複数可）

503 件の回答

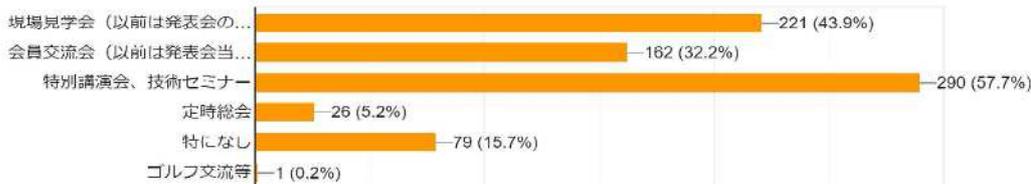


その他

- 動画形式で視聴できればいい
- ウェビナー形式で任意の時間に拝聴できたら助かる。当日でなくても、自由に視聴できたらいい。
- CPDS単位の付与があれば、有料でもOK
- なぜ有料という発想になるのか？
- 興味のある内容で受講する場合、CPD単位付与はお願いしたい
- Web発表のアーカイブ閲覧と資料のDL
- 平日開催では参加が難しい
- 県内であれば参加したい
- 見学会の充実

5-6. 年次発表会と併せて行ったら良いと思う行事はありますか？（複数可）

503 件の回答



5-7. 年次発表会に関するご意見などがありましたらお聞かせください

メリット面

全国からの体験発表会は内容が良いものが多く、機会があれば参加したいです。

本人、会社としてメリットを感じる内容であれば参加者も増えるのではないのでしょうか

コンクリート診断士の活躍の場を全国でアピールするには、このような全国大会が必要と思います。

JCDの対外PRの面からしても絶対に継続してほしい行事である。地方開催は、地方独自の活動を知る絶好の機会であり、それを地区の会に取り入れることで会のマンネリ化を防ぐ役割もある。

コンクリート診断技術は各人の業務に対して幅広い。業務に直結しない場合、受講なしが多いと思われる。

各地域で発表された技術で、他地域の活動に展開されると有意義な技術の紹介の機会になれば良いと思います。

自身の経験や実績だけでは対応できないケースが多くあり、他の施工事例や最新の技術など参加する事で得られる情報が多くある為、積極的に参加したい。

診断士の社会的認知向上も考慮した開催を望みます。

交流

TCDセミナーに以前参加しましたが、各地区の会員様との交流も出来るので、機会があれば参加したい。

内容に拘らず会員相互交流を目的としたイベントとして位置付けるのか？

互いの情報提供の場となるように、自身としても発想していきたい

開催側の準備等は大変だと思うが、なるべく対面にて実施して頂き、人との交流が大切であると思います。

内容

技術力向上に役立つ事例報告等を希望します

なるべく新規な話題が望ましい。

汎用性の高い修材の紹介

発表内容の学術的な価値をどのように評価するのか？

鋼橋の診断技術セミナー

診断技術に特化した業績表彰をしてはいかがでしょうか。

配信、閲覧方法

テレビの見逃し配信のような視聴による参加もできるようにすると良い。

web配信は、ライブじゃなくてもよいのではないのでしょうか。

現場見学会もライブ配信等を活用すれば参加者も増えるのではないかと思う。

発表資料や論文などが閲覧ができるとよいです。

会員だけが視聴できるアーカイブがあれば資産が継続的に活きると思われる。

会員専用ページのユーザー名、PWの周知が足りないようで、活用できていないように思われる。

開催方法

土日に開催していただきたい。

関西方面での開催を希望します。

地方で開催する意義はあると思うが、交通の便が良い地区で開催して欲しい

開催県の負担を少なくする工夫が必要

地区行事でも同様の研修会を実施しており、なかなかJCD行事に足が向かない。

各地方診断士会へ何名参加の義務づけを行えば、各会から参加者が出ると思う。参加費用等も各会で検討すると思います。

準備など運営側は大変なので、役員、事務局だけでなく会員に例えば交代で補助など依頼されれば、会員側も参加しやすいと思います。

年数回のメールが転送されるだけで会員の認識は非常に低い。もう少し直接的な周知が必要なので、

参加者に粗品配布

問6. JCDの技術部会における、現在の主たる活動内容は年次発表会の開催運営ですが、今後の技術部会の活動のあり方についてお聞かせください

6-1. JCD全体の活動の中でも、技術部会として年次発表会以外に行って欲しい行事または活動はありますか。(複数可)



その他

サポート（ホットライン）があったら日常業務の問題解決の助けとなる。

5年、又は10年毎に「最新技術の動向」として、既存技術の整理、まとめ、更新として何か発刊されてはいかがでしょうか。又、積算基準化に繋がる「新技術の歩掛り」等の調査研究をされてはいかがでしょうか。

補修工事の再劣化の事例が知りたいです。

これまでの研修（資格更新時の）の回答解説等

東京診断士会の受験講座は内容も充実しており、ウェブ開催すれば、多くの方が参加するのではないかと。対面がベストだが、こういう講座こそWEB開催が適している。無論、文章問題の添削も含める。勿論、有料とする。

6-2. 技術部会は地区理事の3名体制ですが、今後の活動体制はどうあるべきと考えますか。



その他

地方の診断士会も共通で使えるコンテンツづくり

現状の体制における負担が大きい等の問題があれば適宜増員すればよい。

JCD設立意義に即した技術的な活動を継続、更新していかれてはいかがでしょうか

理事の業種が偏らないような選定としたほうがよいのではないかと。各分野の代表が集まる体制

各県に技術部会担当を配置し本部組織との連携を図る

問7. 技術部会に期待することがありましたらお聞かせください

技術情報提供

コンクリート技術のシンクタンク的情報発信や役割を期待します。定期的な情報発信を期待します。

かわらばんに記載するだけでなく、2ヶ月に一回程度技術的情報を流して欲しい。

HPでもかまいませんが、Q&Aを充実させてコンクリート診断士を活用してもらうように働きかけをする。

日進月歩で新技術や新工法は進歩をしているため、今後もそれらの発信や情報提供をして頂きたい。

土木研究所や土木研究センターとの交流や情報交換により、会員に対し有効な活動が得られると思います。

多様な劣化に対する標準的な診断手法の紹介。

診断に限らず広くコンクリート技術の紹介など

新技術・新工法の積極的な発信。市場動向や新技術採用事例。新技術の情報提供や現場の技術体験等。

新技術の開発WGを独自で開催し新技術の開発をしたい

技術や工法、設計単価など余で保有するデータをまとめた冊子などがあると大変便利かと思います。

コンクリートの診断技術について、書籍を発刊して欲しいです。

5ヶ年計画で技術基準等の体系化、整理をしていただきたい

技術的な問題の解決策等を示していただきたい。

業務を行う上での技術相談を行う場があるとありがたい

技術面でのサポートなどがあれば相談できると良いと思われま。

事例紹介

劣化や補修の事例等を紹介してほしい

例えば青森県診断士会研修会に技術部会から他県のような劣化などの事例等の情報提供（WEB）等

具体的な事例に対するサポート

判断の難しい技術的な対応等をより多く公開して欲しい。

事例の写真集があるとよい。どう見ても判断ミスのケースがある。事例写真がたくさんあればミスは少なくなりそう。

体制面

技術的な内容もちろん、JCDの行事として何を求められているのかを再検討して頂けるとありがたい。

人数を増やした方が活動に活気が出ると思います

企画・立案することから大変でしょうが、バックアップ体制を充実させてください。
技術部会員を各地区診断士会から募り規模を大きくしてはどうでしょう。
技術部会は何ができるかアピールしてはどうか
もっと発展、広く展開してもよいと思う。
地方診断士会同士の交流機会の創出 各地域の診断士会と連携する活動
知名度の向上。一般市民も含めて。

年次発表会は対外PRの手段としてもJCDの屋台骨です。コロナ制約も緩和し再スタートです。技術部会に期待大です。

"技術"であれば、JCIとの連携や関係は？

講師派遣や講習会の開催

技術的な問合せ窓口や、問い合わせ専門業者先の紹介などが有れば、身近な感じがします。

人社、交流活動

人材教育の支援

在官学、学生を交えた交流など

診断技術という「大きな枠組の活動」だけでなく、「同種の業態」でのネットワーク構築を期待したい。例えば、コンサル（当社）部門特有の技術提供や共有を「可能とする場」の構築である。

コンクリート診断士の資格を保有しているが、診断業務に携わっていない人が多くいるように感じられる。今後、老朽化したコンクリート構造物が増大することを踏まえると、有資格者による点検、診断及び維持管理業務の活性化が必要であると考える。このため、日本コンクリート診断士会としても、有資格者への診断業務への取り組み方や報告書の作成方法の指導、診断を行う糾纏結成の支援など、会員へのバックアップ体制が強化されると良いように感じる。

問8.その他、JCDについてご意見がありましたらお聞かせください

運営面

元JCI会長等が言っていたように、JCDの活動が診断士を充実させることになるので頑張る以外はないと思う。

現状の把握と今後の動向に対する対応へのサポート体制充実

副会長がよく言われるように「JCDは地方診断士会のプラットフォーム」です。中立であるべきです。一部の団体・協会などと連携するなど「色が付く」のは絶対反対です。その意味でも他団体の講習会等の後援で名前を貸す際には十分留意しておこなっていただきたい。

公共の発注者指向で、市民に目を向けていない。訴訟対応なども進めて頂きたい

多様な議論が出来る組織である事を期待します。

大変でしょうけれども今後とも会の運営よろしくお願いします。

技術情報

HPの更新をもっとして欲しい。トピックの古い情報は削除して欲しい。

気軽に問い合わせできる「技術ホットライン」的な「仕組み」を構築願いたい。

WEBページで過去講演会の閲覧可能願います。

施設分野ごとの劣化・補修及び補強事例集の蓄積・整理をお願いします。

補修補強技術の体系化

情報発信を明瞭かつスピードを持って実施願いたい。

共有情報の提供をもっと適時にお願いたい。技術情報の紹介、発信に期待しています。

診断士地位向上、地区連携

地区会員が期待する最大の意見（私見）は、コンクリート診断士 資格を業務等で活かせることだと考えます。すなわち、国（県市町村）等への診断士資格者をしっかり活用してもらえるように具体的に動くことだと思います。

コンクリート診断士の地位向上や積極的な活用に結び付く活動をしていただきたい。

資格の認知度や資格者のメリットを向上させてもらいたい

点検診断技術に関して診断士は他の資格に比べてレベルが高い。もっと地位を高めることはできないか。

診断士の地位向上や発注要件等、さらに診断士の重要性を加味していくことを連携していければいい。

診断士のJCD加入率が低いのは何故か？JCDの存在意義を再確認し、あるべき方向を議論することが必要。

国との資格活用の協議。入札時の総合評価等への資格メリット。

コンクリート診断士の知名度の向上や周知のためにも、各県にコンクリート診断士会が発足するとともに、各県が連携して活動をしていければと思う。

地区での活動を越えて活動を広げることは現状ではなかなか難しいと思いますが、各地区の交流などにJCD様の後押しがあると良いと思います。

行事面

各種講習会は知識など維持管理に大変役立っておりますので、今後も継続して開催をお願いします。

講演者の一覧や金額等、地区の会で有用な情報を頂けると幸いです。

会員同士の交流会をぜひお願いしたい

研修の基本目的に立ち返り実施行事の支援をお願いしたい。

3. 2022年度収支報告（案）

2022年度（2022年4月1日～2023年3月31日）の収支・決算（案）を表-1に示す。

表-1 2022年度の収支・決算（案）

作成でき次第添付

監査報告

以上のとおり報告します。

2023年 3月 31日

一般社団法人日本コンクリート診断士会

監査の結果、いずれも適法かつ正確であることを認めます。

2023年 5月 日

鶴巻 達也 印

(2022 収支報告書ができ次第監査)

第3号議案 監事改選について

2023年度 理事・監事候補一覧

No.		氏名	所属部会	担当	所属団体名
1	理事	橋高 義典	-	会長	東京コンクリート診断士会(学会会員)
2	理事	小野 定	-	副会長	東京コンクリート診断士会(会長)
3	理事	石川 裕夏	-	副会長	福井県コンクリート診断士会(幹事)
4	理事	竹内 祥一	総務部会	部会長	法人会員(エバーストラクション(株))
5	理事	有山 直孝		副部会長	長野県コンクリート診断士会(会長)
6	理事	原田 隆敏	企画部会	部会長	高知県コンクリート診断士会(会長)
7	理事	森 直生		副部会長	富山県コンクリート診断士会(会長)
8	理事	岡崎 勝信		副部会長	宮崎県コンクリート診断士会(事務局長)
9	理事	井田 豊	財務部会	部会長	島根県コンクリート診断士会(理事)
10	理事	澤 嗣郎		副部会長	岡山県コンクリート診断士会(会長)
11	理事	牧野 徹		副部会長	東海コンクリート診断士会(副会長)
12	理事	古川 博人	技術部会	部会長	NPO 法人石川県コンクリート診断士会(副会長)
13	理事	奥村 智洋		副部会長	法人会員(㈱和幸設計)
14	理事	内川 善生		副部会長	法人会員(神稲建設(株))
15	理事	天野 智雄	広報部会	部会長	静岡コンクリート診断士会(会長)
16	理事	勇 秀忠		副部会長	(一社)熊本県コンクリート診断士会(会長)
17	理事	奈良 裕	会員部会	部会長	青森県コンクリート診断士会(会長)
18	理事	竹内 一博		副部会長	NPO 法人大分県コンクリート診断士会(副会長)
19	理事	田中 孝志		副部会長	鳥取県コンクリート診断士会(会長)
20	監事	鶴巻 達也	-	監事	新潟県コンクリート診断士会(副会長)
21	監事	◎中谷 忠司	-	監事	北海道コンクリート診断士会(事務局長)
22	事務局長	齋田 浩之	-	-	エバーストラクション株式会社
23	特別顧問	林 静雄		顧問	東京コンクリート診断士会(学会会員)

◎：新任 1名

以上

第3号議案 2023年度事業および収支計画について

1. 2022年度事業計画（2023年4月1日～2024年3月31日）

1.1 総務部会

- (1) 2023年度（第14回）定時社員総会の実施
- (2) 定款等の会則について必要に応じて検討
- (3) 事務局運営のフォロー

1.2 企画部会

- (1) 日本コンクリート工学会との意見交換会の開催
- (3) 部会長会議の開催（2回/年）
- (4) 他部会の事業のサポートとブラッシュアップ
- (5) 企画部会の事業予算（案）
 - ・ 日本コンクリート工学会との意見交換会の開催 …… 活動費で計上
 - ・ 部会長会議の開催（2回） …… 35万円（役員活動交通費）
 - ・ 他部会の活動のブラッシュアップとサポート …… 活動費で計上
 - ・ 活動費 …… 24万円

企画部会としての 2023年度事業予算（案） 合計 …… 59万円

2020年度実績：210,108 (555,000)
2021年度実績：323,486 (575,000)
2022年度実績：327,166 ※ (725,000)

※予測金額（）内予算金額

1.3 財務部会

- (1) 中間時点における財務状況の把握（中間決算）
- (2) 2023年度決算の実施
- (3) 業務体験発表会の収支確認
- (4) 適時試算表の確認を行い、総務と協働して健全な財務体質の構築に努める。

1.4 技術部会

(1) JCD2022年次発表会

主催（一社）日本コンクリート診断士会、共催 新潟県コンクリート診断士会

日時：2023年11月10日（金）10:30～17:00

会場：新潟市新潟グランドホテル

開催方法：対面+Web視聴のハイブリット方式

(2) 技術情報収集と提供

学会、JCIなどの主なトピックスや最新技術情報を収集し、有用な情報をメールかわら版およびHPにて会員へ情報提供する。また、各地区診断士会から技術情報を募集収集し、その紹介を行う。これらは、事務局および広報部会と連携して実施する。

(3) 技術的問い合わせ対応

技術的問い合わせがあった場合には、内容を確認し、該当する地域に近い地区診断士会と連携し対応に当たる。これらは、事務局と連携して実施する。

(4) 地区診断士会への講師派遣等の支援

地区診断士会等からの研修会・講演会等の支援要請に対して、講師の紹介や、適任者の選定派遣、資料紹介等を行う。これらは、事務局と連携して実施する。

1.5 広報部会

- (1) かわら版の発行（年4回）
- (2) HPの改定（保守管理方法等の再検討）
- (3) JCI 構造物診断セミナー PR

1.6 会員部会

- (1) 各地区の診断士会への加入のためのPR活動の支援
JCI年次大会において、パンフレットの配布を考えたい。
- (2) 法人会員の加入促進のためのPR活動
上段同様、JCI年次大会において、パンフレットの配布を考えたい。
- (3) 法人会員の登録可能人数の上限に満たない法人会員へのPR活動
昨年度同様、メールにてお願いの文書を配布する。
- (4) 未加入の地区診断士会の加入促進活動
入していない地区の診断士会に、なぜ加入しないのかのアンケートの実施をして、現状の把握をしたい。

1.7 事務局

- (1) 会長、副会長、理事、各部会および地区診断士会間の連絡を調整する。
- (2) 会員名簿の整備、会員証の内容の修正等、会員管理の充実を図る。
- (3) 各部会の活動を支援する。

2. 2023年度収支計画（案）

2023年度（2023年4月1日～2024年3月31日）の収支計画（案）を表-2に示す。

表-2 2023年度の収支計画（案）

作成でき次第添付

報告事項

報告(1) 会員数等報告

個人会員数(2023年3月 現在)

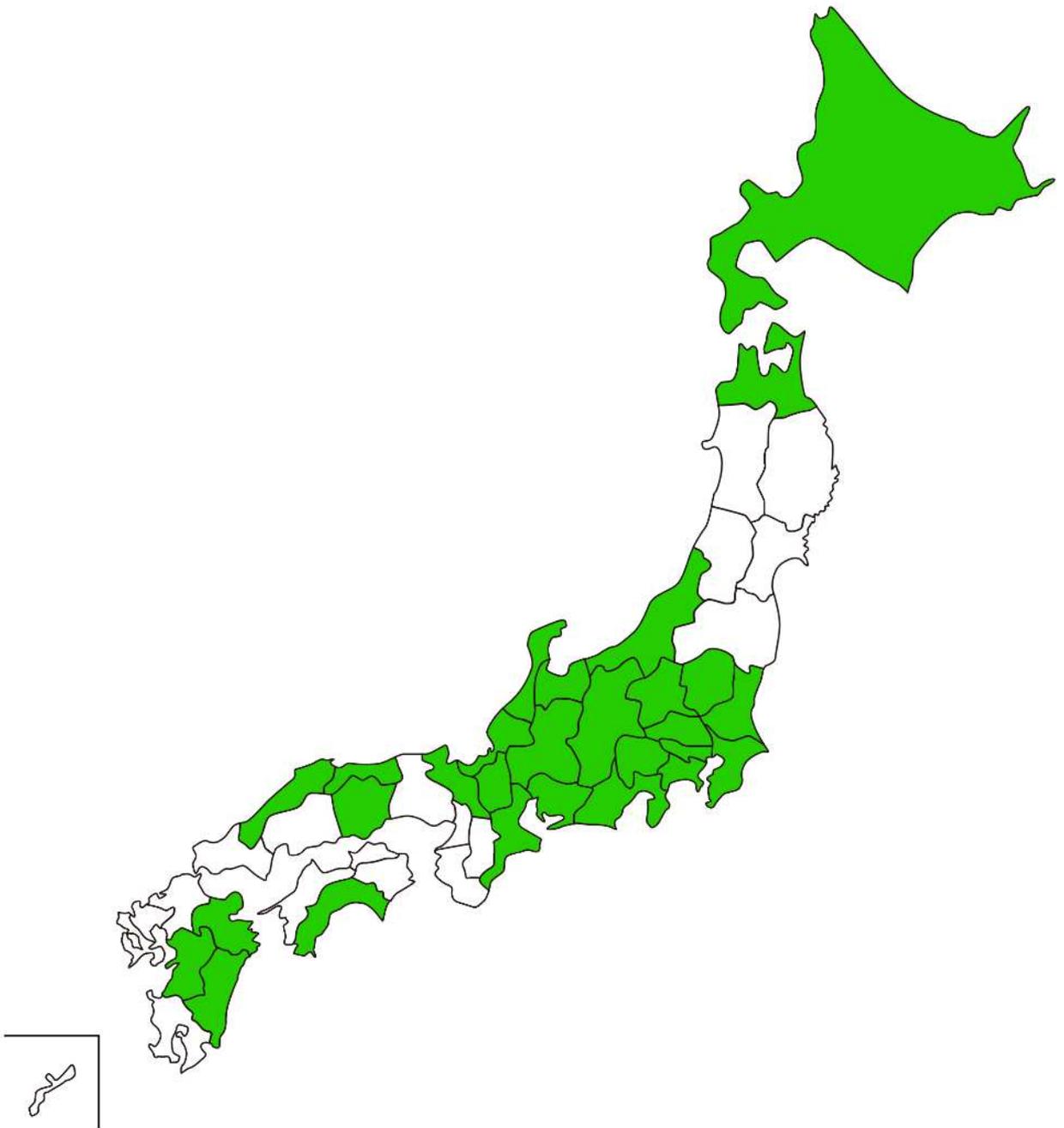
名簿が集まり次第添付

地区の会からの登録会員数：1630名(=学41+正1477+賛14+賛98)

学術・正会員数：1559名(=41+33+1485)

法人会員数(2022年3月 現在)

名簿が集まり次第添付



JCD に加盟している地区診断士会